

決算議会！昨年度事業を審査しました。



プロフィール

- 1994年3月23日生まれ
- 広陵西小/広陵中/畝傍高校/大阪大学法学部
- 2016年ITベンチャー企業(株)エクス入社
- 2019年First Step開業(主にIT事業を手掛ける)
- 2020年広陵町議会議員選挙初当選

26歳 最年少広陵町議会議員

ちぎた 慎也

もくじ

- 9月議会の概要
- 一般質問の詳細
- 決算で気になったこと
- オンライン活動報告のご案内
- チギト——ク

↓ SNSでも発信中! ↓



9月議会(定例会)の概要

9月議会のスケジュール

8月26日 全員協議会

※予算案や条例改正案等の議案について役場から議会への説明

8月28日 質問通告締切

※一般質問の質問内容を議会事務局に提出する期限

9月 7日~24日 本会議

※初日に議案の趣旨説明が行われます。議案の説明の後、各議員からの一般質問となります。9月議会では議長を除く13名全員が一般質問に立ちました。一般質問の後、各委員会にて議案を審議し、最終日に採決を行います。

ちぎたの一般質問

質問1 新型コロナウイルスの影響による教育格差の拡大に対処する

質問2 「町まるごと商品化」を進めるためのオンラインの活用について

質問3 豪雨災害に備えた継続的な啓発活動と災害時の情報発信について

詳細は下記に記載

i **決算審査** ... 9月議会では前年度の事業に対して予算が適切に使われたか審査します。審査は「決算審査特別委員会」の委員で行われます。私は当委員会に所属していますので、9月16日、17日の2日間しっかりと昨年度事業について議論いたしました(詳細は裏面)。

一般質問

i **KoCo-Biz** ... 広陵町と大和高田市が協働で設立したビジネスサポートセンター
なりわい ... 広陵町の「町まるごと商品化」を推進するための地域商社の通称

新型コロナウイルスの影響による教育格差の拡大に対処する

ち) コロナを受けた2か月の休校の影響で教育格差が拡大していないか、対策はどうするか。

回) 現状見られないが、注視していく。「子供たちの健やかな学びを保障する。」ために7人の指導員を町内の小中学校に配置する。

質問全文



「町まるごと商品化」を進めるためのオンラインの活用について

ち) KoCo-Bizのセンター長はブランディングに長けた方ということで、知恵を借りつつ「なりわい」でオンラインショップを運営してはどうか。また、Youtuber等を起用した広報戦略も考えてはどうか。

回) 「なりわい」としてオンラインショップを開設し、SNSに強い発信ができる方とも組んで、全国に発信していく。

豪雨災害に備えた継続的な啓発活動と災害時の情報発信について

ち) 必要な情報を分かりやすく提供できるホームページにするために、可変性の高いしくみにしてはどうか。また、役場被災時にはホームページ等は外部から更新できるのか。

回) ホームページの契約が今年度までなので、一番いいものを研究していく。また、ホームページ等のシステム非常時には役場外からでも更新できるようになっている。

納税のキャッシュレス化はできないか？

☑) クレジットカードやQRコード決済を使った納税方法を令和3年度導入を目指して進めている。



一括調達やシステム統合でシステム費の削減ができないか？

☑) PCなどで切替のタイミングを合わせられるものは合わせて節約していく。



システムの統合は複数市町村で運用しているものもあり、本町だけで判断できない部分があるが、切替のタイミングで経費削減できるように努める。

システム費(電算費)は毎年かなりの額が使われています。民間企業ですと、パソコンを一括で購入してボリュームディスカウントをしたり、バラバラのシステムを統合することで、保守料を下げたり、運用をしやすくしたりしています。今回、複数市町村で管理しているシステムがあるなど、行政特有の事情があることが分かりました。引き続きコスト削減の方法を提案していきたいと思えます。

空き家等利活用移住推進事業の結果とそのフォローは？

☑) 2回相談会を開催し、のべ6軒を紹介し、7名に参加いただいた。



問い合わせ等があったあとのフォローはしていない。

民間企業で考えると、問い合わせやご相談をいただいたあと、しっかりとフォローして、クローズに向けて進めていく、というのが普通だと思います。空き家の活用や、定住促進は非常に重要なテーマなので、しっかりとフォローするように依頼しました。

“広陵町産×レストラン”つながりプロジェクトの成果は？

☑) 農家6軒、飲食店等6軒をマッチングした。初年度ということで、町産知名度向上等の客観的な成果は計測できていないが、今後の運営に必



決算審査!

前年度事業のここが
気になりました!!

要なノウハウを蓄積することができた。今後は「なりわい」への事業主体の移行も含めて効果的に継続できるモデルを模索する。

町産の農産物を町内で消費することは非常に重要です。商品循環させられますし、なにせ採りたての農作物が一番おいしいです。田んぼや畑を広陵町に残し続けるためにも必要な取組です。しかし、お店が欲しい農産物を必ずしも用意できるわけではないという課題があるということでした。より効果的な方法を提案するとともに、町内で農業を営むことのメリットも発信していきます。

靴下のプロモーション、町イチ!村イチ!出展の効果は？

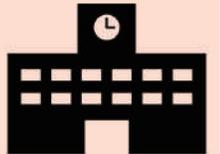
☑) 今回は2つの靴下事業者が出展し、インスタグラマーにPRしてもらいました。ある程度効果はあったが、今後は「なりわい」も絡めることでイベント単発で終わらない形にしたい。



当企画は広陵町の靴下産業に対するイメージを「産地(=下請け)」から「ブランド」に変えるために実施されたものです。広陵町の靴下の認知を高めていく、全国・全世界の方から選んでもらえる、そのための提案を続けていきます。

学校の先生方の働き方改革は進んでいるのか？

☑) 部活動を地域で面倒を見ることで、先生方の残業時間削減等に一定程度効果が見られている。部活動をやりたい生徒に機会を提供するためにも続けていきたい。



先生方のためにも子供のためにも、地域で部活動を見守る仕組みは不可欠です。タブレットの本格運用も始まりますので、学校業務を省力化する方法も提案していきます。

Youtubeで活動報告します!

2020年11月14日(土)



19時~20時

主に、本チラシの内容を解説します。その他、コメント欄にいただいた質問への回答などを行い、全体で1時間程度の予定です。ご都合つく方ぜひご覧ください!

↓視聴は↓
↓こちら↓



E-mail : info@shinya-chigita.net
TEL : 080-2443-0579
事務所 : 広陵町三吉478-1

チギトーーーク

最近、「広陵トウジノハナビPROJECT」という、こども達のためにみんなで花火を上げる企画をお手伝いさせていただいています。

この企画は町民の方の「やりたい」という気持ちからスタートしたものです。「やりたい!」と声を上げられるまち、そしてそれをみんなで叶えられるまち、そんなまちって素敵だな、と常々考えております。今回の企画はまさにそんな企画だったので、微力ながら協力させていただいております。冬至の日に澄んだ冬の空に、みんなの花火が上げられるようにがんばっております。お楽しみに!